



6/14(土)山陽小野田地域「何でも相談会＆食材支援」 専門家の共同で50名とアンケート対話、見えてきた“困った”



アンケートは、①事前アンケート、②専門家による聞き取りアンケートの2段構えで実施。



セメント町旧たんぽぽに5つの相談室を臨時で設置。プライバシーに配慮しました。



午後は、診療所の隣のリハビリディサービスたんぽぽでも実施。(待合室の様子)

相談会を通じて、4名の「無低診」開始につながり、新規加入も1名

6月14日(土)、22回目になる山陽小野田地域「何でも相談会＆食材支援」。2か月に1回(第2土曜日定例開催)、毎回60～70食分の食材を必要な方々に提供してきました。利用者のみなさんに食材をお渡しするだけでなく、抱えている悩みや問題を打ち明けていただき、必要な支援を受けられるようにしたい…というのが当初からスタッフの問題意識としてあり、今回、アンケートによる対話形式で専門職に相談出来る機会をつくることにしました。

当時は、生協小野田診療所、地域福祉室、在宅介護福祉事業部、デイサービスたんぽぽ、支援部の総勢12名のスタッフと理事3名、地域ボランティア複数の参加で65名(内8名は配達)にお渡してきました。懇談では、具体的な相談事から心配事など多岐にわたる相談が寄せられたようです。ひとりの発信に多くの人たちの力を寄せていただいたことに感動すると共に、改めて健文会の凄さを実感しました。

一人ひとりの「困った」に寄り添いたいと思う気持ちが、確かに地域を変えつつあります。アンケートは地域福祉室に分析していただき、今後の運動に繋げる運びです。

全ての参加者様に理解いただき、きお話を聞けたのは私にとっては奇跡のようでした。2月の食材支援の時に、雪の中を2時間30分かけて来られた厚狭の方が、今日は随分お元気になっておられ、「顔が見られてうれしかった 今度は参加してゆっくり話したい」と仰っていて大変うれしく思いました。 (山陽小野田ブロック 担当理事○さん)



たんぽぽでも、3つの個室をつくり、各ブースごとに専門職による個別相談を行いました。

食材支援は宇部と山陽小野田で毎月交互に実施しています。毎回、約70キロ(1人1キロ)のお米を必要としています。この間、「お米2合カンパ運動」で地域や事業所に呼びかけ、3/31～6/5の間で合計約140キロのお米が集まりました。ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

山陽小野田ブロック有志でミャンマー地震募金活動

2か月に1回、第三木曜日の午後に小野田サンパークで実施している街頭支援募金活動。山陽小野田ブロック有志が集まり、その時々に必要な募金を呼び掛けています。今回は3月末に被災した「ミャンマーへの緊急支援募金」にとりくみました。この日はお客様が少なく、駐車場も空きが目立ちましたが、募金協力者はいつもより多めでした。集まった募金総額合計7,589円は、山口県ユニセフ協会に届けます。



4月17日おのだサンパーク
ユニセフ協会のパネル写真で説明しました



いつもの場所で支部総会開催(有帆支部)

5月16日、有帆大休団地の集会所でいつも活動している有帆支部。各テーブルには色とりどりのお花が飾られ、参加者の目を和ませていました。森田事務長は藤田麻美先生を巨大パネルで紹介。チーム小野田のみなさんからは認知症予防の話を受けました。



藤田麻美先生の巨大パネル
で宣伝する森田事務長

中島支部長は、「昨年は仲間ふやしをがんばった、今年も引き続き目標にこだわって活動を広げよう」と力強く挨拶。



チーム小野田による認知症予防の話



～おしらせ～ 「医療生協健文会 健康まつり2025」実行委員会

◆事務局会議 7月24日(木)13時30分～15時 病院多目的室

◆第4回実行委員会 7月31日(木)13時30分～15時 病院多目的室

★模擬店出展企画書、ステージ企画申込書の申し込みは7/22しめきり

6-7月教育学習月間

◆25年度「通信教育」申し込みしめきり (7/22まで)

◆「プラスチック問題学習会(岡村さん)」の申し込み希望は、支援部まで